

## 疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

## 研究課題名

聴力が温存された聴神経腫瘍患者における聴力成績についての後方視的検討

## 研究計画

## (1) 背景・意義

## (2) 目的

当研究は前診療科長・河野道宏の現勤務先である東京医科大学病院との共同研究です。脳神経外科が取り扱う頭蓋底腫瘍、特に聴神経腫瘍に対する摘出術では、脳神経機能温存と高い腫瘍摘出度の両立が、患者さんの術後生活の質に大きく影響すると考えられるため、これまで手術方法や術後管理について様々な検討を行ってきました。

そこで今回、手術で聴力が温存されたにも関わらず長期間の術後経過で聴力を失っていく患者さんを対象として、東京医科大学病院脳神経外科と共同研究を行うことを考案致しました。術後に聴力が徐々に悪化していく現象については、世界中で様々な検討がされておりますが、原因など未だに明らかになっていない事項が多く、これまで蓄積されてきた術後の聴力検査結果を遡って検討することで、今後手術を受ける患者さんの、聴力機能の温存、摘出率向上、安全な手術の提供などに寄与することを目的とします。

## (3) 方法

## ●対象となる方:

聴神経腫瘍に対して手術を受け、術後に有効な聴力が確認された患者さんを対象とします。2004年6月から2017年12月の期間に東京医科大学病院もしくは東京警察病院を受診され、術後の耳科検査（聴力検査）を受けた方を対象とします。

●研究期間：倫理委員会承認後より研究開始となり、最長5年間で聴神経腫瘍に対して摘出術を受けられた患者さんのデータ解析を行います。

●利用する検体やカルテ情報：通常診療で必要であった、術前後の聴力検査、画像検査の解析を行います。新たな検査などは必要ありません。

●検体や情報の管理：患者さんのデータは匿名化した上で、研究を分担するスタッフのみがアクセス可能と致します。またデータ保管は院内規則に則り作業場所、データ保管場所などの管理は厳重に致します。研究成果の公表に際しては、個人が特定されないことがないように配慮するなど、当院の規定に基づき個人情報保護の徹底に努めます。

## 個人情報の取り扱い

本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。

## 連絡先

東京医科大学病院 脳神経外科

電話番号 03-3342-6111 (代表) (内線) 3221

担当医師：一柵倫生、松島健